

私たちには命がある！人としての誇りがある！ そして、共に生きるなかまがいる！

◇今日は3月11日。多くの人の命が犠牲になったあの東日本大震災から5年がたちました。児童のみなさんは知らない20年以上前に起きた1月17日の阪神淡路大震災の記録もたどりながら、命の大切さとともにこれからの生き方について考えてみました。

こんな詩があります。 くり返す

谷川俊太郎

後悔をくり返すことができる だがくり返すことはできない
人の命をくり返すことはできない けれどくり返さねばならない
人の命は大事だとくり返さねばならない 命はくり返せないとくり返さねばならない



漫才コンビ、サンドイッチマンの伊達さんが、東日本大震災の後こんな話をブログに載せています。

岩手県一ノ関にいます。かなり揺れた地域です。全てのお店は閉まっています。信号もありません。でもね、ちゃんとお互い助け合って順番を譲ってあげたりしています。だから変な事故とか争いがありません。みんなスゴいです！！



戦後、俺たちのじいちゃんやばあちゃんは日本を復活させた。世界には奇跡と言われた日本の復興。必ず復興します！日本をナメるな！東北をナメるな！

現在のこんな状態は誰1人経験してない事。誰もが生まれて初めての経験をしているんです。誰もが試行錯誤しながら、この状況を乗り越えようとしています。必ず、日本はこの危機を乗り越えます。お互い助け合い、協力して『大丈夫』って言い合いながら生きましょう！

人間は1人だと非力です。でも団結すれば最強です！頑張りましょう！俺達は強いぞ！

『大丈夫！』『大丈夫だ！』

◇阪神淡路大震災や東日本大震災で多くの命が失われた中で、失われなかった人としての誇りやなかまとの絆。私たちは、その事実からもう一度学ばなければならないのではないのでしょうか。

わたしたちには、かけがえのない命があります。また、わたしたちには、人としての誇りがあります。そして、わたしたちには、共に生きるなかまがいます。

だからこそ、なかまと共に、今を一生懸命生きなければなりません。「人の役に立つ人間」として、毎日を一生懸命生きなければなりません。